大阪大学
THE UNIVERSITY OF OSAKA

大阪大学蛋白質研究所　教員公募

概　要	当研究所の膜システム生物学研究室では、細胞やオルガネラを構成する生体膜に関する研究に取り組んでいます。生体膜は数千～数万種類に及ぶ多様な脂質分子種から構成されていることが知られていますが、生きた細胞において、これらの脂質分子が周囲の脂質や膜タンパク質とどのように協調して機能しているのかについては、不明な点が数多く残されています。 当研究室では、酵母細胞表面上でタンパク質–脂質結合を解析する独自技術である CLiB アッセイ(Nishimura et al., *Nature Cell Biology*, 2026, PMID: 42393358)を基盤として、脂質プローブの大規模スクリーニングや分子進化の研究を進めています。さらに、イメージング解析による細胞内オルガネラ膜のダイナミクス解析、AlphaFold を用いたタンパク質と脂質分子のドッキングシミュレーション、大規模な脂質結合分子のデータを利用した機械学習・AI 解析など、最先端技術を駆使した研究を展開しています。 今回の公募は、当研究室に所属する助教が 2027 年 4 月に異動する予定であることに伴い、実施するものです。応募者の研究分野は特に限定しませんが、博士号取得見込みの方は、新しい実験手法の習得に積極的に取り組めることを期待します。博士取得後、数年の研究経験を有する方は、これまでの研究経歴を活かしつつ、当研究室のプロジェクトにおいて中心的な役割を担って頂くことを求めます。応募内容に関する問い合わせも歓迎します。
1. 職名	准教授、講師、もしくは助教 ※職名については下記応募書類⑦および経歴や面接審査をもとに従事していただく職務を勘案して決定します。
2. 募集人数	1 名
3. 所属	蛋白質研究所膜システム生物学研究室
4. 勤務場所	吹田キャンパス(大阪府吹田市山田丘3−2)
5. 専門分野	細胞生物学、蛋白質工学、計算生命科学
6. 職務内容	・上記分野に関する研究 ・本学の学部学生及び大学院生に対する教育・研究指導 ・その他、研究所及び大学における管理運営業務
7. 応募資格	[必須条件] (1) 博士の学位を有すること(着任時までに取得見込みも含む) (2) これまでの専門分野(特に限定しない)における十分な研究実績があること (3) 業務遂行に支障のないレベルの日本語及び英語の能力があること (4) 研究に意欲的に取り組むとともに、協調性があること
	[望ましい条件] (1) これまでの専門分野としては細胞生物学や蛋白質工学、計算生命科学などが好ましい。ただし必須ではない。 (2) タンパク質精製やタンパク質構造予測、光学顕微鏡によるイメージング解析、培養細胞を用いた実験経験があることが望ましい。ただし、いずれも必須ではない。
8. 採用日	2027 年 4 月 1 日(以降できるだけ早い日;応相談)
9. 契約期間	採用日から 5 年 ※ 雇用契約期間満了後、業務の継続状況および勤務評価などの審査により更新の可能性あり(ただし、「73. 国立大学法人大阪大学有期雇用教職員等の契約期間に関する規程」に基づき、通算契約期間は当初採用日から最長 10 年を期限とする)
10. 試用期間	6 か月
11. 勤務形態	「38. 国立大学法人大阪大学任期付教職員の労働時間、休日及び休暇等に関する規程」による https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html ※　同意に基づき、専門業務型裁量労働制適用(みなし労働時間:1 日 8 時間)

12. 給与及び手当	「47. 国立大学法人大阪大学任期付新年俸制教職員給与規程」による https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html
13.社会保険等	国家公務員共済組合、雇用保険、労働者災害補償保険に加入
14. 応募書類	応募書類は英語または日本語で記述のこと ① 履歴書 ※ 以下のサイトより、「教育研究系職用」の応募用履歴書をダウンロードしてお使いください。 https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/employ/links ② 研究業績（原著論文（プレプリントも可）、解説・総説、著書、特許、受賞、招待講演リスト、その他） ③ 主要原著論文の別刷（1～5 編程度）。各論文の独創的な点、注目すべき点、本人の寄与等を含めた概要を添付すること。 ④ これまでに獲得した競争的資金のリスト ⑤ これまでの研究概要（A4 用紙 1 枚程度） ⑥ これまでの教育経験や学生の研究をサポートした経験について（A4 用紙 半ページ程度） ⑦ 希望する職名(複数選択可)、着任後の抱負と考えている自身のキャリアプランについて（A4 用紙 1 枚程度） ⑧ 照会可能な方 2 名の氏名・所属・連絡先 （選考過程において推薦状を求める可能性があります。） ※ なお、応募書類による個人情報は、採用者の選考及び採用後の人事等の手続きを行う目的で利用するものであり、第三者に開示いたしません。
15. 送付先及び問合せ先	応募書類を 1 つの PDF にまとめて、下記の E-Mail アドレスまで送付してください。 tanpakuken-syomu[at]office.osaka-u.ac.jp（[at]を@に置き換えてください。） ※ 件名を「蛋白質膜システム生物学研究室 教員応募」とすること ※添付ファイルにはセキュリティ対策を十分に施したうえで添付ファイルを送付すること ＜本件に関する問合せ先＞ 大阪大学蛋白質研究所附属蛋白質先端データ科学研究センター 膜システム生物学研究室教員選考委員会 委員長 岡田 眞里子 電話番号 06-6879-8618 E-Mail mokada[at]protein.osaka-u.ac.jp（[at]を@に置き換えてください。）
16. 応募期限	2027 年 1 月 6 日 （水）(必着)
17. 選考方法	書類審査を行ったのち、面接審査を行います。面接審査の案内は書類審査通過者にのみ応募期限から1ヶ月以内に行います。 ※ 面接のための旅費及び宿泊費等は応募者の負担とします。海外在住の方には、オンラインでの面接が可能です。 ※ 書類審査不合格の連絡はいたしませんので、ご了承ください。

18. その他	上記の他の労働条件については国立大学法人大阪大学任期付教職員就業規則等によります。 https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html 以上の労働条件等については、本採用情報掲載時点のものであり、変更の可能性があります。 また、採用後、所属、勤務場所及び職務内容については、原則、変更することがありません。 安全保障輸出管理に係る「みなし輸出」については国立大学法人大阪大学安全保障輸出管理規程等によります。 https://www.osaka-u.ac.jp/kitei/reiki_honbun/u035RG00000780.html 女性研究者の積極的な応募を歓迎します。 大阪大学は、男女共同参画を推進し、女性教職員のための様々な支援を実施しています。 http://www.di.osaka-u.ac.jp/ 大阪大学は、ハラスメントのない大学を目指して、様々な啓発活動を実施しています。 万が一、不適切な言動・対応などに関するご不安やお気づきの点がございましたら、相談窓口を設置しておりますので、お気軽にご連絡ください。 https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/life/prevention_sh/ ※　敷地内原則禁煙 ※　蛋白質研究所では PI (Principal Investigator)制度を導入しています。 蛋白質膜システム生物学研究室の構成員 教　授　　西村　多喜（PI） 准教授、講　師、または助　教（本選考） 助　教　（選考中）
19. 募集者	国立大学法人大阪大学